

自家用給油取扱所の運用開始

松本広域消防局

松本広域消防局は、平成29年4月1日から自家用給油取扱所の運用を開始しました。自家用給油取扱所は、芳川消防署の敷地内に建設し、ガソリン1万2千L、軽油8千Lの貯蔵が可能で、当消防局が所有する消防車両全83台の燃料1か月分を賄うことができます。

自家用給油取扱所の設置は、長野県内で災害が発生した際の緊急消防援助隊の受援等を考慮し、県の広域防災拠点となる県営松本空港や松本平広域公園から距離が近く、幹線道路(国道19号)に面した場所を選定しています。

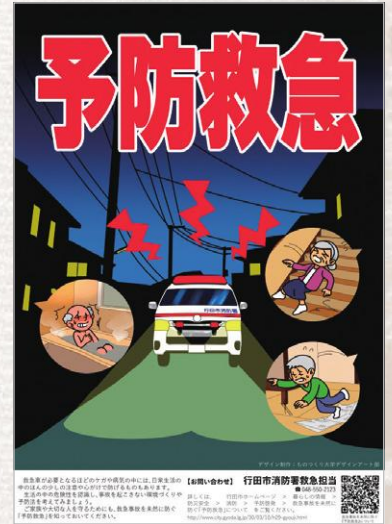


地域の大学と連携して、「予防救急」PRポスターを作成!

行田市消防本部

行田市消防本部は、救急事故に繋がる事故等を未然に防ぐ「予防救急」を普及啓発するため、市内に所在する、ものづくり大学デザインアート部の学生と連携しPRポスターを作成しました。

この「予防救急」PRポスターをとおして、生活の中の危険性を認識してもらうとともに、事故を起こさない環境づくりや予防法を伝えることで、市民の安心・安全を図り、救命率の向上を目指していきます。



消防通信 望楼 ぼうろう

働きやすい職場環境作りを推進します

松戸市消防局

消防行政の自浄作用及び法令遵守の推進を目的に、松戸市消防局職場改善推進研修会を実施しました。職場の問題について職員間で早期解決できるよう、内部公益通報を含む職場相談制度等の周知を図りました。

各所属の管理職と若手職員を対象としました。2日間で90名が参加し、職場改善推進の一助となりました。研修後のアンケートにより制度周知について課題が見られたため、松戸市消防局では、課題の解決を図るとともによりよい相談環境作りを推進していきます。



組み立て式消火用水槽4台を受贈しました

茨木市消防本部

平成29年5月23日、茨木市商業団体連合会の創立50周年記念事業の一環として、「組み立て式消火用水槽」を4台寄贈していただきました。

式典では、茨木市商業団体連合会山田会長から福岡茨木市長へ目録が手渡され、福岡市長から山田会長へ感謝状が贈られました。

寄贈いただいた「組み立て式消火用水槽」は3tの貯水ができる大きさで、消火活動等においてたいへん活躍することと思います。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】